科目基礎情報 科目番号 授業形態 開設期 教科書/教材 担当教員 到達目標 (1)人間の生涯には 体であることとで、 (2)歴史、くこ「自由な角度から理解で (4)民族、宗教(4)	解する。 宗教的背景を踏 野田丁 「こと」 デリスト は では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	科 (東京法) (東京	題を理解するとときません。 ときまという という という という という を で 方生な を かと から で 正点 現 の で で 正点 現 の で で 正点 現 の で で 正点 現 で で 正点 現 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	科単位 対別 は	一般 単位: 一般 単位:	2 とのは、自らが公共的な空間に属する主ない。 「幸福とのにして、自己の生き方や他者と共にのようできる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。		
科目番号 授業 開設期 教材 担当 達 月間 別	講義機械工学通年 『公藤 男子の記録を表現の記録を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	(東京法) (題を理解するとときません。 ときまという という という という という を で 方生な を かと から で 正点 現 の で で 正点 現 の で で 正点 現 の で で 正点 現 で で 正点 現 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	単位 対	型数 を	2 とのは、自らが公共的な空間に属する主ない。 「幸福とのにして、自己の生き方や他者と共にのようできる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。		
授業形 開設期 教科書月 到達 (1) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (5) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	講義機械工学通年 『公藤 男子の記録を表現の記録を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	(東京法) (題を理解するとときません。 ときまという という という という という を で 方生な を かと から で 正点 現 の で で 正点 現 の で で 正点 現 の で で 正点 現 で で 正点 現 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	単位 対	型数 を	2 とのは、自らが公共的な空間に属する主ない。 「幸福とのにして、自己の生き方や他者と共にのようできる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。		
開設期 教科書/教材 担当	機械工学通子のでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	(東京法) (題を理解するとときません。 ときまという という という という という を で 方生な を かと から で 正点 現 の で で 正点 現 の で で 正点 現 の で で 正点 現 で で 正点 現 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	対 週 ()	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	図し、自らが公共的な空間に属する主でして、自己の生き方や他者と共にして、自己の生き方や他者と共にのその制度、倫理的課題について様々なることの重要性について考察できる。 ま到達レベルの目安 青年期の意義とのできない。 歴史、大の思想をできない。 歴史、大の思想をできない。 歴史、先規を手掛と共的な方とできない。 歴史、大の思き方や世代、てのとき方を世代、てのとき方を世代、てのときるできない。 「幸などのととの間にはないできない。」 「本ばの公大学にはないできない。」 「本ばの公大で関連としているに、「全様でしているに、「全様でしているで、現代課にできない。」 「本ばの公大で関係との制度との制度をのりたに理解でできない。」 「などの制度のいたに理解である。」 「本ばにの知度をのいたに理解である。」 「本ばにの知度をのいたに、「なな質で様々な角度からぬりたに、」」 と、		
開設期 教科書/教材 担当教員 到達目標 (1)人あをといる。(2)を3(3)角民 民が ブリック (2)を3(3)角民 民が ブリック 評価項目1 評価項目 3 評価項目 5 学教育方法等	通年 『公共』 佐藤 『公共』 佐藤 年 第 ではまる。背 ではまる。 ではる。 ではまる。 ではる。 ではまる。 ではる。 ではる。 ではる。 ではる。 ではる。 ではる。 ではる。 では	(東京法) (題を理解するとときません。 ときまという という という という という を で 方生な を かと から で 正点 現 の で で 正点 現 の で で 正点 現 の で で 正点 現 で で 正点 現 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	2 選挙権に 想が会 を 体 的 に 動 と 社 さ で の 思 と 社 さ で の 間 で で の 間 で で の で で の 間 で で の 間 で で の 間 で で の 間 で で の 間 で で の で で の 間 で で で で	のにして、自己の生き方や他者と共に でその制度、倫理的課題について様々 することの重要性について考察できる。 深究し、自分や他人の論証を理解する。 未到達レベルの目安 青年期の意義と自己形成の課題に ついてとの重要性についてほととの できない。 歴史、文化、宗教的背景を踏まえたの思想を手掛かりになってとの重要性にていてほとのできない。 歴史、大人の思想を手掛かりにはき空間にいたとの思想を手掛かりにとき空間としてもとのもだった。 がときたとの間としてき空間といいではいいではいい。 「幸福」とのたがの方たにではいい。 「幸福」のいて学が、現代課題にできない。 「幸福」のいて学び、現代課題にできない。 「本はどの公れて学でいて、現代課題にではなりまない。」のは、現代では、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないのでは、はないのに、はないのもに、はないのでは、はないのもに、はない。		
教科書/教材担当教員	『公共』 佐藤 勇一 おける青年期の 解する。 宗教要性で、義」「ここと教、インストンストンストンストンストンストンストンストンストンストンストンストンストン	意義と自己を表する。 意義と自己を表する。 一方では、大けのの思想を表する。 一方では、大けのの思想を表する。 一方では、大けのの思想を表する。 一方では、大けのの思想を表する。 一方では、大けのの思想を表する。 一方では、大きなで、大きなで、大きなで、大きなで、大きなで、大きなで、大きなで、大きなで	題を理解するとときません。 ときまという という という という という を で 方生な を かと から で 正点 現 の で で 正点 現 の で で 正点 現 の で で 正点 現 で で 正点 現 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	(籍) (特) (特) (特) (特) (大) (大) (大) (大	選挙権について考察に であることである。 であること社社では、 はいいのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでいたでのでは、 でのでいた。 でのでいた。 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 ででいた。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	のにして、自己の生き方や他者と共に でその制度、倫理的課題について様々 することの重要性について考察できる。 深究し、自分や他人の論証を理解する。 未到達レベルの目安 青年期の意義と自己形成の課題に ついてとの重要性についてほととの できない。 歴史、文化、宗教的背景を踏まえたの思想を手掛かりになってとの重要性にていてほとのできない。 歴史、大人の思想を手掛かりにはき空間にいたとの思想を手掛かりにとき空間としてもとのもだった。 がときたとの間としてき空間といいではいいではいい。 「幸福」とのたがの方たにではいい。 「幸福」のいて学が、現代課題にできない。 「幸福」のいて学び、現代課題にできない。 「本はどの公れて学でいて、現代課題にではなりまない。」のは、現代では、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないのでは、はないのに、はないのもに、はないのでは、はないのもに、はない。		
担当教員 到達目標 (1)人あと、(1)人の歴では、(1)人の歴では、(2)き、(3)角)民にはでいる。(5)といる。(5)といる。(5)というでは、(4)というでは、(4)というでは、(4)というでは、(5)というでは、(5)というでは、(5)というでは、(5)というでは、(5)というでは、(5)というでは、(5)というでは、(5)というでは、(5)というでは、(5)というでは、(4)というでは、(5)というは、(5)というは、(5)というでは、(5)というは、(5)というは、(5)というは、(5)というは、(5)というは、(5)というは、(5)とい	佐藤 勇一 佐藤 勇一 信藤 勇一 信藤 勇一 信藤 勇一 信	意義と自己を表する。 意義と自己を表する。 一方では、大けのの思想を表する。 一方では、大けのの思想を表する。 一方では、大けのの思想を表する。 一方では、大けのの思想を表する。 一方では、大けのの思想を表する。 一方では、大きなで、大きなで、大きなで、大きなで、大きなで、大きなで、大きなで、大きなで	題を理解するとときません。 ときまという という という という という を で 方生な を かと から で 正点 現 の で で 正点 現 の で で 正点 現 の で で 正点 現 で で 正点 現 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	もに、 とこうに 解 から とこうに 解 から とこうに 解 から とこうに 解 から から は に、 とこうに 解 から から から できません できない さい 大思さの人で にって はいません できない 大思さの人で にっしょう はいません できない から はいません できない まません できない マンド・アン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン	の思想が会を する で が は まい は で で の	のにして、自己の生き方や他者と共に でその制度、倫理的課題について様々 することの重要性について考察できる。 深究し、自分や他人の論証を理解する。 未到達レベルの目安 青年期の意義と自己形成の課題に ついてとの重要性についてほととの できない。 歴史、文化、宗教的背景を踏まえたの思想を手掛かりになってとの重要性にていてほとのできない。 歴史、大人の思想を手掛かりにはき空間にいたとの思想を手掛かりにとき空間としてもとのもだった。 がときたとの間としてき空間といいではいいではいい。 「幸福」とのたがの方たにではいい。 「幸福」のいて学が、現代課題にできない。 「幸福」のいて学び、現代課題にできない。 「本はどの公れて学でいて、現代課題にではなりまない。」のは、現代では、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないのでは、はないのに、はないのもに、はないのでは、はないのもに、はない。		
到達目標 (1)人間のには (1)人間のことでは、(2)間のことでは、(3) には (4)には、(4)には、(4)には、(5)には、(5)には、(5)には、(5)には、(5)にが、です。 (5)には、	おける青年期の対象を踏する。最初の背景を踏りまる。最初の背景を踏りまた。というでは、一直では、一直では、一直では、一直では、一直では、一直では、一直では、一直	意義 えて間な ス 育成 理 青つす理 歴で人のこけつ 「」思質で 民一を 民に といる は 野 が が が が が が 対 に で の とんけつ で は を いっという で いっという で は か 期でこし 、 先思きの人で 一般で 一般で 一般で 一般で 一般で 一般で 一般で 一	を引きる。	た。 こ方に	の思想が会を する で が は まい は で で の	のにして、自己の生き方や他者と共に でその制度、倫理的課題について様々 することの重要性について考察できる。 深究し、自分や他人の論証を理解する。 未到達レベルの目安 青年期の意義と自己形成の課題に ついてとの重要性についてほととの できない。 歴史、文化、宗教的背景を踏まえたの思想を手掛かりになってとの重要性にていてほとのできない。 歴史、大人の思想を手掛かりにはき空間にいたとの思想を手掛かりにとき空間としてもとのもだった。 がときたとの間としてき空間といいではいいではいい。 「幸福」とのたがの方たにではいい。 「幸福」のいて学が、現代課題にできない。 「幸福」のいて学び、現代課題にできない。 「本はどの公れて学でいて、現代課題にではなりまない。」のは、現代では、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないのでは、はないのに、はないのもに、はないのでは、はないのもに、はない。		
(1)人間の生涯には体で理(2)歴史、文化、と同じのことで、文化、と同じのことでは、1 を対し、 (2)歴史、文化、と同じな角度族、 (3)角度族、 (5)民主ででは、 (5)民主ででは、 (5)民主では、 (5)民主で	解する。 宗教的背景を踏 野田丁 「こと」 デリスト は では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	思人的 か 対 が 対 に で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	を引きる。	た。 こ方に	の思想が会を する で が は まい は で で の	のにして、自己の生き方や他者と共に でその制度、倫理的課題について様々 することの重要性について考察できる。 深究し、自分や他人の論証を理解する。 未到達レベルの目安 青年期の意義と自己形成の課題に ついてとの重要性についてほととの できない。 歴史、文化、宗教的背景を踏まえたの思想を手掛かりになってとの重要性にていてほとのできない。 歴史、大人の思想を手掛かりにはき空間にいたとの思想を手掛かりにとき空間としてもとのもだった。 がときたとの間としてき空間といいではいいではいい。 「幸福」とのたがの方たにではいい。 「幸福」のいて学が、現代課題にできない。 「幸福」のいて学び、現代課題にできない。 「本はどの公れて学でいて、現代課題にではなりまない。」のは、現代では、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないのでは、はないのに、はないのもに、はないのでは、はないのもに、はない。		
ルーブリック 評価項目1 評価項目2 評価項目3 評価項目4 評価項目5 学科の到達目標教育方法等		理想 かいます では、	ベルの目安の課題に回りでは、 自己公共のいままし自いにはからでは、 をかしてはなができる。 をかと公共でする。 をかと公共でする。 「観、現代課でで、 「観、現代課で、 「観、現代課で、 「のでで、 「のでで、 「のでで、 はび、 はび、 はび、 はび、 はび、 はび、 はび、 はび	標準年のる 化のをや要とえ 「公い制角を放って、 に思手他性しる 自共て度度 (1) は思手のでは、 に思りである はのできな想で表 はのできな想で表 はのできな想で表 (1) 思想を表 (2) はません。 により (4) はまり	でルの 自	未到達レベルの目安 青年期の意義と自己形成の課題に ついて、主体的に公共空間に参画 すど理解できない。 歴史、文化、宗教的背景を踏まえ て、先人の思想を正しく理解しません。 歴史、文化、宗教的背景を踏まえ て、先人の思想を正しく理解しまま 人の思想を手掛かりにして、いら の生き方要性、ひれていたとの間ととの間ととの間ととのが方たに できなどの公共の方たにきない。 「幸福」「自由」「証点から社会ではいるですび、現代課題に関係である。 思想について学が、現代課題に理解で はる人間であるの制度がある。 思想について実施に理解で でしている。		
評価項目1 評価項目2 評価項目3 評価項目 4 評価項目 5 学科の到達目標教育方法等	#ITAC 1. 0.25	青つす理 歴て人のこけつ 「」思質で 民一を 民に 東いる解 史、の生とるい	自に 自に 性 が が が に 大 で で で で で で で で で で で で で	青つす解 歴て人の生とるい マル制の、とい 文先思きの人て にい 文先想方重間考 にのの生とるい マルの生とるい 幸な想にそな 宗想掛ける にのの生とるい 幸な想にそな 宗想はたる 自共て度度 教教 教教 (人のを)を (人	に 画理 に 画理 に 画理 に 画理 に 一記 が に の間で で で で で で で で で で で で で で	青年期の意義と自己形成の課題について主体的に公共空間に参んで主体的に公共空間にあるとの重要性についてほとんど理解できない。 歴史、文化、宗教的背景を踏まることが表して、宗教の問景を踏りに生きがしているとの思想を正りに生きの重きができる。 歴史、先人の思想を正りにはいるときのできるがあったにおいるというでは、ことがありますが、現代社会にない。 「幸福」「自由」「正義」「会様のいい。 「幸福」「自由」「正義」「会様にいいるには、現代社会の制度のいて、倫理的課題に理解で、最初に関係をありまない。		
評価項目2 評価項目3 評価項目4 評価項目5 学科の到達目標 教育方法等	#IAC 1. 0.25	青つす理 歴て人のこけつ 「」思質で 民一を 民に 東いる解 史、の生とるい	自に 自に 性 が が が に 大 で で で で で で で で で で で で で	青つす解 歴て人の生とるい マル制の、とい 文先思きの人て にい 文先想方重間考 につのな 大想方重間考 につのもとるい 幸な想にそな 宗想掛ける にのの生とるい 幸な想にそな 宗想はたる 自共て度度 (人の生とるい 東の生とるい 東の生とるい 東の生とる にしる 自共で度 (人の生とる) 東京 (大の生とる) 東京 (大の生) 東京	に 画理 に 画理 に 画理 に 画理 に 一記 が に の間で で で で で で で で で で で で で で	青年期の意義と自己形成の課題について主体的に公共空間に参んで主体的に公共空間にあるとの重要性についてほとんど理解できない。 歴史、文化、宗教的背景を踏まることが表して、宗教の問景を踏りに生きがしているとの思想を正りに生きの重きができる。 歴史、先人の思想を正りにはいるときのできるがあったにおいるというでは、ことがありますが、現代社会にない。 「幸福」「自由」「正義」「会様のいい。 「幸福」「自由」「正義」「会様にいいるには、現代社会の制度のいて、倫理的課題に理解で、最初に関係をありまない。		
評価項目3 評価項目4 評価項目5 学科の到達目標 教育方法等	#IAC2 1. 0.25	て 大の生とるい に 大思きの 大思きの 大思さの 大思さの 大思さの 大思さの 大思さの 大思さの はで で にこっ にこっ にこっ にこっ にこっ にこっ にこっ にこっ	をかと せい では をかと では では では では では では では では では では	て、、たりでは、大人のをでは、たりでは、大人のをでして、人のをでして、人のをでして、人のをできる。 「人のとこのに、大人のことでは、このでは、一人のこのに、大人のこのに、大人のこのに、大人のこのに、大人のこのでは、たんのでは、大人のこのでは、大人のでは、大人のこのでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大人のでは、大りのでは、ないので	をかける。	て、先人の思想を正しく理解し先人の思想を手掛かりにして、 の思想を手掛かりにしてさい。 の生き方や他者と共に生き間はいる人間との重との重との重との重との重とのではかったにでいて考えることがあったにでいい。 「幸福」「自由」「正義」「多様はの公共的なび、現代社会の制度、倫理的課題について様ななりでいるのでは、現代をはいるでは、現代社会のでではない。		
評価項目4 評価項目5 学科の到達目標 教育方法等	#IAC2 1. 0.25	」などの公共的な思想にそのな角度が係るな角度が発生を表して、 民族、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	な観点から多様なび、現代社会の特には、現代社会の特には、現代社会の特には、1000円できる。 リスト教、イスラ生活文化の多様性	」などの公共的が思想について学で質やその制度、作工様々な角度から。 民族、宗教(キリーム、仏教)や5	は観点から多様な が、現代社会の特 倫理的課題につい ら概ね理解できる リスト教、イスラ	」などの公共的な観点から多様な 思想について学び、現代社会の特 質やその制度、倫理的課題につい て様々な角度からめったに理解で きない。		
評価項目5 学科の到達目標 教育方法等		ーム、仏教)や生を理解できる。 民主主義社会によ に資する哲学対詞	生活文化の多様性	ーム、仏教)や生	リスト教、イスラ			
学科の到達目標 教育方法等		に資する哲学対話		民族、宗教(キリスト教、イスラーム、仏教)や生活文化の多様性 を概ね理解できる。		民族、宗教(キリスト教、イスラーム、仏教)や生活文化の多様性をめったに理解できない。		
教育方法等	まましょ 今日	を自分の世界に見 に探究し、自分 を 解することが十分	話に参加し、問い 引き付けて主体的 や他人の論証を理	に資する哲学対記 を自分の世界に	おける市民の育成 舌に参加し、問い 引き付けて主体的 や他人の論証を理 なできる。	民主主義社会における市民の育成 に資する哲学対話に参加し、問い を自分の世界に引き付けて主体的 は実究し、自分や他人の論証を理 解することがめったにできない。		
	示垻日との関	 係						
1bl St	な」の 次・・、・題け・をつと公 の思思さ過をる市経の思思さ過をる市経験をおかえまのす	て、専門人として必要となる基礎的な知識の獲得を目指し、様々な文化や社会の背景(エートス:倫理)と 哲学や宗教、思想を中心に学習する。また、そうした哲学思想を「平和」「幸福」「自由」「正義」「公正 公共的観点からとらえることによって、現代社会の特質を理解するとともに、人権や生命の尊重など、現代 空間における人間の在り方について考察する。 「できるようになるよう、真剣に受講することを望む。 ちの用いた諸概念の連関について説明できる。 ちが、どのような時代背景や文化的背景のもとで、どのような倫理思想を構築したかを理解することにより な地域の歴史や文化を多面的に認識できる。 現代までのさまざまな思想が、現代社会の特質やその制度、現代の倫理的課題、さらに、技術をとりまく問 際に多くの示唆を与えてくることを理解し、「幸福」「自由」「正義」「公正」など、公共的な空間にお ぎまなテーマについて考察できる。 就に資する哲学対話に参加し、問いを自分の世界に引き付けて探究し、多様な視点・立場から考察すること						
『公共』と『倫理』の教科書を用いる。先人の思想を手掛かりにして、公共的な空間におけるさまざまなテーマにて で課題を通じて考察することができる。板書やプリントを用いた講義を中心に行うとともに、p4cを行う。学生の理 をはかり、思索の深化を促すために、授業中に複数回の小テストや自習プリント、感想文課題、p4cワークシートを 。ノートの提出も義務づける。						とともに、p4cを行う。学生の理解原感想文課題、p4cワークシートを行う		
2回の定期試験の平均(30%)に、授業中に行う複数回行う小テストや要約レポートおよびサイレントダイアローグ用 (25%)、哲学対話への参加(p4cワークシート 5%)、提出物(感想文や自習ブリント)や態度などの平常点 (30%)、ノート(10%)により評価する。評価したうえで必要な場合は、追加のテストや課題を課す。100点満点で 60点以上を合格とする。授業中または課題として出す提出物の提出が滞らないようにすること。								
授業の属性・履								
□ アクティブラ-	-ニング	□ ICT 利用		□ 遠隔授業対応	<u>.</u>	□ 実務経験のある教員による授業		
	週				週ごとの到達目標			
前期 1stQ		シラバス ガイダン 命、平等について				、 ガイダンス、収容所における極限状		

		_						
		2週	公共空間の変容、対話的理性、生命倫理、新しい人権 (自己決定権) について I 人間	人間の尊厳、生命倫理、人種・民族・難民問題について、公共性、社会の多様性、公平性と関連して理解する。人間の定義とその社会的背景から現代社会の特質について理解する。				
		3週	自由、人権の歴史、法の支配と人権保障、多様化する 社会の人権について I 人間	人間の尊厳、生命倫理、人権、法の支配、ジェンダー について理解する。サルトルにおける人間の定義批判 から自由について考察する課題を提出する。				
		4週	自由(幸福と自律)、新しい人権(プライバシーの権利)について I人間	フーコーにおける人間の定義批判から現代社会の特質や、プライバシーや忘れられる権利などの新しい人権について理解する。自由について帰結主義や動機主義を踏まえて考察する課題を提出する。				
		5週	公共空間における青年期、成年年齢、選挙権について II 青年期	青年期の特徴、自己実現、自己理解について理解する とともに、成年年齢や選挙権について考察する課題を 提出する。				
		6週	公共空間における人間としての在り方、選挙権、情報 倫理について Ⅱ青年期 Ⅲ自己	成熟した人間像、欲求の階層理論、情報倫理、メディアリテラシーについて理解するとともに、簡単な模擬選挙を通じて選挙のしくみや意義を理解し、選挙結果について考察する課題を提出する。				
		7週	自己形成の課題、キャリア発達について IV欲求 V無意識	欲求や無意識の理論を通じて、キャリア発達や自己形成の課題を理解する。				
		8週	自己形成の課題、公正、パーソナリティについて VI性格 第2章 I哲学の誕生	性格理論について理解する 課題を通じて、個性や自己の生き方や他者と共に生きていくことの重要性について考察する。				
		9週	持続可能な社会づくりの主体となる技術者、公共空間 における技術者 II ソクラテス以前	自然哲学者、SDGsについて理解する。自然哲学者の自然観と近代の自然科学の自然観との違いから現代社会の特質を理解する。				
		10週	持続可能性、自然観、環境倫理について エソクラテス以前 エソフィスト	自然哲学者について学び、自然環境と技術、環境倫理 、持続可能な社会について課題を行う。				
		11週	公正、正義、民主政治について エソフィスト	ソフィストの思想、ポリスについて理解する。民主主 義社会における政治参加と公正な世論の形成の意義に ついて理解する。				
	2ndQ	12週	対話、善、幸福、対話的学習について IVソクラテス(SD)	無知の知、問答法について理解する。サイレントダイアローグ(SD)を通じて技術者について、善や正義について考察し、課題を提出する。				
		13週	公共空間における人間としての生き方、幸福、善、法について IVソクラテス	ソクラテスの思想を通じて、幸福、善、法について考察する。サイレントダイアローグ(SD)を通じて技術者について、善や正義について考察し、課題を提出する。				
		14週	哲学対話(p4c)、哲学プラクティス、主体としてのわたしたち	講義の内容や哲学的な問題に関し、対話を通じて探究 し、主体的・対話的で深い学びを体験する。				
		15週	善、正義、国家、国家について Vプラトン	プラトンにおけるイデア、徳、国家、魂などについて 学ぶとともに、その国家観と現代までに現れたいくつ かの国家観との違いについて理解する。				
		16週	試験返却	試験は、試験返却期間に返却する				
		1週	資本主義経済の変容、経済と政府について Vプラトン	プラトンにおける国家観と比較しつつ、アダム・スミス以来の資本主義経済思想について経済と政府の関係から理解する。				
		2週	公共空間、正義、公正、幸福について Vプラトン VIアリストテレス	アリストテレスにおける倫理、正義などについて現代 における正義や公正の問題とともに理解する。技術者 における幸福や安全について考察する課題を提出する 。				
		3週	よりよい社会の形成、社会保障、平等、配分について VIアリストテレス	アリストテレスにおける倫理、正義などについて、ロールズなど現代における正義や公正、社会保障をめぐる思想とともに理解する。				
	3rdQ	4週	公共空間、世界市民主義、自然法と実定法、社会契約 、国際社会の仕組みについて VIIヘレニズム	ヘレニズムにおける倫理、正義、世界市民主義について学び、現代にも通じる多民族が共存する多文化、多言語のコスモポリスについて理解する。自然法思想を通じて、ヘレニズム時代と現在の国際社会の仕組みに通じる思想について理解する。				
		5週	文化の多様性、日本の文化について 第3章 I 中国の思想	諸子百家について学び、多様な考え方や、日本文化へ の影響について理解する。				
後期		6週	公共空間における人間としての在り方、道徳と法、自然と人為について II 儒家	孔子、孟子の思想について学び、法と道徳の関係につ いて理解する。				
		7週	幸福、公共の福祉、よりよい社会の形成について II 儒家	孟子、荀子の思想について理解し、公共の福祉や、技術者としての幸福について考察する課題を提出する。 儒家の発展を理解し、世界を探究することの重要さを 理解する。				
		8週	探求と社会参画、自然、地球規模の諸課題、持続可能 な社会づくりについて II 儒家 III 道家	儒家の発展を学び、社会参画することの重要さを理解する。老子、荘子の思想について学びつつ、軍縮の歴史や平和について理解する。				
		9週	社会の多様性、自然、平和、宗教と文化について Ⅲ道家 第4章 I ユダヤ教	老子、荘子の思想について学びつつ、軍縮の歴史や平 和について理解する。ユダヤ教について理解する				
		10週	宗教と文化、正義について 【 ユダヤ教	ユダヤ教の歴史を通じて、異文化理解の課題について 理解する。イエスの思想について理解する。				
	4thQ	11週	宗教と文化、愛について IIキリスト教	イエスの思想、原始キリスト教について理解する				
		12週	宗教と文化、喜捨、共生、市民と国家について Ⅲ キリスト教 Ⅲイスラーム	教父哲学、スコラ哲学、イスラームの教えについて理解する				
		13週	宗教と文化、共同体、エスノセントリズムについて IIIイスラーム	イスラームの教え、オリエンタリズムについて理解し 、現代社会の諸問題について考察する。				
		*	•	•				

	1	.4週	宗教と IV仏教	文化、地球規模での諸課題について			自由解し	自由思想家、ヒンドゥー教、ブッダの思想について理解し、多様な文化の背景を理解する。				
	1	.5週	宗教 d IV 仏教	文化、地球規模での諸課題について			ブッし、	ブッダの思想、仏教の利他の思想の発展について理解 し、貧困などの現代の地球規模の課題について考察する。				
	16週 試験返去				却 試験は、試験返却期間に返却]する			
	コアカリキュラムの学習内容と到達目標											
分類		分野		学習内容 地理歴史的 分野	学習内容の到達目標 民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。				到達レベル 3	授業 1,前2,前5,前9,前前12,後2,後4,後4,後4,後4,後4,後4,後4,後4,後4,後4,後4,4,4,4,15		
基礎的能力	人文・社会 科学	社会		公民的分野	人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。				3	前1,前4,前2,前1,前4,前前前前前前前前前112,前前前前前前112,在113,前前前前前前114,後4,後後2,往6,後後後2,往6,後2,往12,往14,位13,前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前		
		(知的 法令 持続	」財産、 順守、 可能性	技術者倫理 (知的財産、 法令順守、 持続可能性 を含む)およ び技術史		音理が必要とされる社	と会的背景や	重要性を認	忍識している。	3	前1,前2,前 7,前10,前 11,前14,後 1,後14,後 15	
				グローバリ ゼーションシ 文化理解	それぞれ寛容さか	い国の文化や歴史に 必要であることを読	□敬意を払い 忍識している.	、その違い 。	\を受け入れる	3	前1,前2,前3,前4,前3,前4,前1,前8前前前前前11,4,後4,後後後後後後後後後後後11,後4,後413,後13,後14,後	
	工学基礎	グロ- ゼー: ・異: 文化:	ション 文化多		様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。			3	前5,前7,前 15,後1,後 5,後6,後 7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後15			
					異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。			3	前7,前8,前 9,前11,前 14,前15,後 2,後7,後 8,後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14,後15			
					それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。				3	前1,前2,前 6,前10,前 12,前14,後 15		
評価割合 試験		小テスト、要約レ ポート、サイレン トダイアローグ用 紙		哲学対話(p4cワー クシート)	提出物(原 自習プリン の他平常点	 	ノート	合計				
総合評価割合	à 30)		25		5	30		10	100		
基礎的能力	30			25		5	30		10	100		
	0			0		0	0		0	0		
専門的能力 0 分野横断的能力 0		0				0	0		0	0		